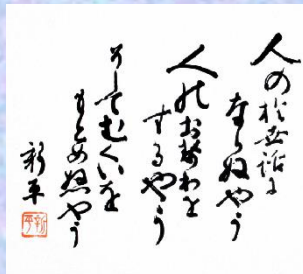




# 後藤新平記念館通信

奥州市立後藤新平記念館

R8年3月号



【自治三訣】



## 令和7年度ありがとうございました



3月で令和7年度も終了です。2025年は放送開始100年の節目ということで、東京放送局の初代総裁を務めた後藤新平への関心がいつもにも増して高まった1年間でした。

### 来館者数増加 海外のお客様も多数来館

今年度の来館者数は、3月22日現在で前年度比21%増となり、コロナ禍以降最多となっています。また、台湾を中心に遠くはイタリアをはじめ、多数の海外の方もご来館いただきました。



### 新平小検定挑戦者数昨年比66%増

夏休み期間中、奥州市内の小学校5・6年生を対象に行っている新平小検定には昨年度より132人多い330人の児童が挑戦しました。毎回後藤新平顕彰会から提供いただいている満点賞の商品を今回からクリアファイルに変え、児童生徒の皆さんにも喜んでもらいました。  
← 満点賞クリアファイル



### 記念館会場のトークイベント開催

今年度初の試みとして、記念館2階を会場にトークイベントを開催しました。7月には東北大学の伏見岳人教授の『後藤新平論集』ブックトークを、10月には顕彰会主催で新渡戸基金理事長藤井茂氏の講演会が行われました。記念館の展示品を背景にしながらのイベントも好評を博しました。



## 記念館のお仕事

### 寄贈資料の受け入れ



寄贈資料の詳細記録

博物館・記念館の役割には「資料の収集・保管」があります。当記念館でも毎年新しい資料を収蔵しています。新収蔵資料には個人の方が所蔵している資料が奥州市に寄贈され、当記念館で収蔵する事例が多数あります。記念館では学芸調査員が受け入れを担当し、貴重な資料の適切な収蔵に向け取り組んでおります。今年度も、後藤新平揮ごうの掛け軸、扁額等計31点のご寄贈がありました。記念館では寄贈いただいた貴重な資料を大切に保管すると共に、皆様にご覧いただく機会を作っています。

#### 資料寄贈の流れ

1. 寄贈の申し出
2. 寄付申請書・経緯書（資料の概要）を市に提出
3. 寄付書を市に提出
4. 資料の受け取り
5. お礼状（市長名）送付
6. 資料の記録（採寸・保存状況・内容等）
7. 収蔵・展示

### 臨時開館のお知らせ

4月13日（月）は後藤新平の命日です。今年の命日は月曜日ですが、記念館は入館料無料で臨時開館します。ぜひご来館下さい。  
※後藤新平のお墓は東京の青山霊園にあります。